

東京から持ち込まれた超高速カメラを使って撮影が進められた（右端は佐々木社長）



農業機械の開発・製造を行っている㈱エフ・イー（旭川市工業団地）の佐々木通彦社長にスポット当てたテレビ番組「夢の扉+（プラス）」（TBS系）が7月

10日夕、全国放映された。

それまでの常識を覆す技術

を生み出すまでの“開発物語”を約30分にまとめたも

ので、番組を見た市民から「旭川でこういう社長が頑張っている」という。番組を見た市民から

「張っているって知つてもらえ、同じ旭川

市民として、大いに勇気づけられた」などという声が上がっている。

「夢の扉+」は、

6年前にスタートし

た「夢の扉」の後続

番組として、この4

月に再スタートした

番組で、ナレーター

に中井貴一、坂口憲二、向井理を起用す

るなどで話題を集め、放送時間が日曜日の

仕事と競合するため

が旭川に入り、ほぼ一日が

エフ・イー佐々木社長の“開発物語”^{プラス}

夕暮れということもあって、

毎回高視聴率を稼いでいる

という。

その番組担当ディレクタ

ーが注目したのが、エフ・

イーが開発した機械の一つ

「大根洗浄機」。これまで

の洗浄機ではたやすく折れ、

傷ついてしまう大問題があ

ったが、「水の膜」で洗浄

するという独自のやり方を

開発し、その問題をあっさ

りクリアしただけでなく、

大量の出荷も可能にさせた。

まさに番組のタイトルがう

たう「野菜洗浄」から農

業革命を?!」だ。

番組制作にあたっては、

何度もわたる事前取材の

うえ、6月14日には担当デ

ィレクター、カメラマンら

が旭川に入り、ほぼ一日が

かりで撮影を進めたが、撮影の一番のポイントは、「水の膜」が大根を洗うメカニズム。それを映像で示すた

め、わざわざ東京から1秒間に2000コマ撮影可能

な超高速カメラも持ち込ま

れた。

番組はまた、佐々木社長がこの開発に至った、鹿児島県のある農家とのエピソードを交え、次いで「この

新洗浄機は、各地で大き

な驚きをもって受け入れら

れ、新たな大根の産地まで

作った。海外からの注文も

あとを絶たない」とし、「旭

川の小さな町工場のひらめ

きが日本の農業を変革して

いく」といったコメントで

番組を締めくくった。

確かに「農業革命」とま

で言うのは、多少誇張があるかもしれないが、農業機械メーカーとして、つねに現場の農業者の視点を最優先にして、従業員とともに仕事を続けてきた佐々木社長の考え方、人柄を十全に分かってくれる番組ではなかつただろうか。

エフ・イーの「大根洗浄機」は、実は昨年12月にテレビ東京のワールドビジネス・サテライト（WBS）「技あり日本の底力」でも紹介されたことがある。このときは、5分ほどの放送時間だったが、今回の「夢の扉+」は放送時間も長く、佐々木社長の元には前回をはるかに上回る反響が届きそうだ。

いずれにしても、こうした旭川の“元気企業”が電波を通じ、全国に発信されることは、なかなか閉塞状況から突破できないでいる地元企業への強いエールになつた。